

## 平成31年2月分「市民の声」一覧

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月5日	2月13日	<p><b>里帰り母子に対するチャイルドの貸出し</b></p> <p>遠方から里帰りする母子はたくさんいます。車で来るとは限りません。里へ帰った時の送迎や買い物等の外出には、実家のチャイルドシートのない車を使用せざる得ません。市で貸し出し制度があると助かります。実家へ数日滞在するだけでチャイルドシートを買う事もままなりません。先日白バイは、店先から出て来た私たちを尾行して、違反切符をきりました。どのようにすればよいか聞きましたところ、タクシーを利用するようにと。タクシーとて危険には変わりありません。市民の経済性、利便性を是非考慮したチャイルドシートの貸し出し制度を設けていただきたいと思います。</p> <p>同じ意見や問い合わせ当市の方へあったと思います。それに対する対策も聞いたことがありません。</p> <p>数カ月前に市へ問い合わせ、是非対策をと話しましたが、回答はありません。よろしくお願いします。</p>	<p>市では、平成12年度のチャイルドシートの着用義務化に伴い、制度の普及・啓発を目的として、チャイルドシートの無料貸出しを実施してまいりました。</p> <p>しかしながら、チャイルドシートの着用義務化から約10年が経過し、チャイルドシートの有効性が広く周知されたことで所期の目的を達成したことから、平成21年度に貸出制度は廃止いたしました。</p> <p>チャイルドシートは乳児用、幼児用、学童用と子どもの年齢や体格等、成長に合わせ選ぶ必要があります。また、車の座席、シートベルトの長さ、ロック機能など、取り付ける車との相性もあります。同じ車種でもグレード等によりシートベルトの形状やタイプが異なるため、相性にもばらつきがあります。さらに、チャイルドシートは、車のシートベルトを使用してしっかりと固定し正しく取り付けなければ、安全性が確保できないことから、各ご家庭において取り付ける車両に適合したものを選び、正しく装着していただく必要があります。</p> <p>チャイルドシートは、お子様の命を守るための大切な道具であり、安全のための補助装置となるもので、お子さんにチャイルドシートの着用をさせるのは義務であることをご理解いただき、お子様の安全を守っていただきますようお願い申し上げます。</p>	地域自治課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月8日	2月18日	<p><b>日本モビリティ・マネジメント会議への職員派遣</b>  余所者ながら失礼いたします。  『ラプライブ！サンシャイン！！』がきっかけで、沼津へたびたび訪れ、以前から僭越ながらたびたび貴市へ意見を申し上げている者です。  貴市でも、地域公共交通網形成計画策定のための会議体発足、担当部長の市議会答弁や平成31年度予算案を拝見いたしますと、自家用車に偏り過ぎない、持続性ある公共交通を形成するためのまちづくりが始まると見ております。  三島市を除けば、東駿河地区で貴市ほど集約された中心市街地はなく、既存公共交通自体も地区内では充実されているほうですので、その貴市ならではの強みを活かし、市内各地区や市外を結ぶ公共交通ネットワークを強化したり、魅力的な公共交通モビリティや公共交通利用者が回遊したくなるような歩行者インフラ整備等で、クルマ所有の有無関係なしに誰もが住みやすく、貴市にしかない魅力的な都市形成が進み、市が発展いたしますことを大いに期待しております。  そういった交通まちづくりを本格的に進めるように見える貴市ですが、貴市も予算案にバスマップ作成で予算を計上しているように、交通まちづくりにはハードだけでなく、市がバスマップや時刻表の配布、アンケートや教育などで市民と積極的にコミュニケーションをとり、市民の意識を変えたり、地図には載らないバス路線を周知することで、公共交通利用を促すソフト政策、いわゆるモビリティ・マネジメントも重要であることは理解されているかと思えます。  このソフト政策は一時的なものでは効果がなく、継続的に行うことで公共交通利用が増えたり、新たな公共交通インフラ整備で理解が広がったりするのですが、そういった日本モビリティ・マネジメント会議という年1回行われるシンポジウムで、自治体、交通事業者、民間団体による施策の事例が発表されているのはご存知でしょうか。  土木学会の支援を受け、交通事業者や内閣府、京都市や富山市などが会員となり、支えられた一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議が毎年主催して行われているものですが、先述のように自治体や交通事業者、民間団体によるハード施策だけでなく、ハード施策に伴うソフト施策、ソフト施策単体の優良事例が数多く発表され、過去には交通まちづくりの筆頭である富山市や京都市、コミュニティバス導入で成功した明石市、市職員の公共交通利用を増やした豊橋市の事例が賞を受賞しています。  今後、貴市も私が解釈したように、交通まちづくりのためのモビリティ・マネジメントを行うということでしたら、今年の7月19日、7月20日に金沢市で行われる、こちらのシンポジウムに公共交通を所管する職員を派遣されてはいかがでしょうか。2日間でさまざまな先進事例に触れられますし、シンポジウムには全国の各自治体、各交通事業者などが集まるようですから、直接コミュニケーションをとり、関係や知識を深めるのも有意義でしょう。  貴市の今後の交通まちづくり推進のために、日本モビリティ・マネジメント会議に職員を派遣されたいかがかと思いますが、貴市のお考えを伺えれば幸いです。</p>	<p>本市では、本年度、有識者、市民、交通事業者、関係行政機関とともにワークショップを開催し、公共交通の課題と改善について検討してまいりました。複数のバス事業者によるネットワークが本市の強みである一方で、事業者別の乗場や案内等による分かりづらさが課題となっております。乗場の方面別の集約といったハード政策だけでなく、バスマップの改善や啓発活動等のモビリティ・マネジメントにより利用しやすく分かりやすい環境づくりを進め、公共交通利用者を増やすことでネットワークを維持・再構築したいと考えております。  また、先進事例等を学ぶ機会としてシンポジウムやセミナーの重要性は認識しており、有識者から情報提供を受けるとともに、テーマや必要性を吟味した上で、可能な限り参加するように努めております。ご紹介をいただきました日本モビリティ・マネジメント会議につきましても、会議の内容を確認した上で、参加を検討いたします。</p>	まちづくり政策課

## 平成30年12月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月12日	12月26日	<p><b>バス会社の交通系ICカード導入促進</b>  通勤等でいつもバスを利用しています。  バスを利用していると、いつも思う事があるので、市としてどうなのかをお伺いします。</p> <p>件名にも記載しましたが、鉄道以外でもバスや物販購入でも、交通系ICカードが利用出来る時代になりました。</p> <p>市内でも、物販購入や鉄道でも交通系ICカードが利用出来ますが、市内のバス会社3社あるうちの2社のみ、交通系ICカードが利用できず、現金や回数券、定期券などしか利用できません。</p> <p>今現在、市内はラブライブ効果で多くのライバーの方々が、連日聖地巡礼に市内に訪れてます。</p> <p>色んな人から、聞いてると全国各地様々な所から聖地巡礼に訪れてるらしいですが、一番驚かれるのが、『バスで交通系ICカードが使えない』という事です。</p> <p>他県等に行くと、バスでも交通系ICカードが利用出来ます。</p> <p>市として各バス会社に導入を促進したり、導入促進に向けて、バス会社などに購入補助したりとかの対策などは無いのでしょうか？</p>	<p>交通系ICカードにつきましては、ご指摘いただきましたとおり、市内を走るバス事業者において1社のみが導入している状況です。</p> <p>市といたしましても、アニメ「ラブライブ！サンシャイン！！」のファンを始め、観光で市外・県外から多くの方々にお越しいただいている中で、利用者の利便性向上として、ICカード導入の有効性は認識しております。</p> <p>バス事業者においても、必要性を認識しているものの、設備投資には莫大な経費を要し、費用対効果が見込めないため、実施に至っていないのが現状です。</p> <p>本市では、分かりやすく利用しやすい環境づくりを目指し、バス事業者と連携して停留所や路線の改善などに取り組んでいるところです。今後、ICカードの導入につきましても、利便性向上や利用促進策の一つとして協議してまいります。</p>	まちづくり政策課

## 平成30年10月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
10月15日	11月21日	<p><b>沼津循環バス</b></p> <p>沼津市に住み始めて3年程になります。ママ友情報の中で、市内の幼稚園・保育園・小学校の親子遠足・校外学習など、沼津市外に行くことが多いコトと、沼津市に来た甥っ子とか遊びに行くなら何処が良いか聞かれると、どうしても沼津市外の楽寿園だったり、。。。正直、沼津市「遊ぶとこ、ない」って言ってしまう。まだ、熟知していないから・・・というのかもしれませんが、ママ友さん達に「どこ、遊びに行く？」と聞いても、同じ回答だったり、私個人的ですが、だからこそ沼津市に群馬県前橋市にある「るなばあく」や愛知県刈谷市にある「刈谷児童遊園」のような子供用の小さな遊園地を作って欲しいと思っています。安い料金で思う存分いっぱい遊べるし、おじいちゃん、おばあちゃんとも乗って遊ぶこともできます。そして、沼津循環バスも路線数やコースも増やして頂ければ、使用しやすく子育てしやすいと思います。※循環バスを利用したいのですが、行きたい場所にうまいコト行けないのでどうにかして欲しいです。愛着持ちやすいように、名称を「ぬまくる」に変更するとか。</p> <p>子どもに交通機関を利用する選択肢をもっと増やしたいのと年齢問わず、利用しやすくして気持ち良く沼津で生活出来れば！と願っています。遊園地の件も、沼津市できれば自然と子供の人数も若い世代も増えてくるのではないのでしょうか？沼津も地盤が緩いなど、色々ありますが、これからの未来の為に頑張って頂きたいです。因みに、生まれも育ちの沼津市民の人たち(ママ友含む)沼津市に税金払いたくない！と思っている人が結構います。税金が、子供達、自分たちの為に返ってくれば、そんな拒否りたくない心理も和らぐのでは、ないかと願っています。</p> <p>どうぞ、ご検討よろしくお願い致します。</p> <p>p.s 沼津循環バスのワンコインバスありがとうございます。以前にこのような形でご提案させて頂いた事があり、現実となっても感謝しております。前にも書きましたが、利用したいルートになく、どうにか利用出来ないか試行錯誤しましたが、時間等もあり使用出来ないコトもありました。今は、値段が少し上がってしまいましたが、ららポートが出来る頃には、利用者が増え事を願うばかりです。</p>	<p>片浜地区及び原地区において、誰でも低料金で気軽に利用できる地域のコミュニティ交通機関として、循環バス「ミューバス」を運行しております。</p> <p>市では、欠損額を一部補助し、事業者とともに運行系統やダイヤ等の見直しを行ってまいりましたが、利用者の増加には至らず、収益の悪化に加え運転手の不足も深刻化しており、今年の4月から運賃をワンコイン100円から値上げいたしました。片浜駅循環においては、平日は減便して収支改善を図り、運行維持に努めております。</p> <p>このような状況のため、現時点では増便は困難と考えておりますが、運行ルートにつきましては、今後の利用状況等に応じて検討してまいります。</p> <p>ミューバスに限らず、路線バスは利用者の減少が続いており、バス事業を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、ご意見にもありますとおり、お子さんから高齢の方まで年齢を問わず誰もが平等に公共交通を利用できることが本来の公共交通の姿であるため、今後も引き続き、公共交通のネットワークの再構築に努めてまいります。</p>	まちづくり政策課

## 平成30年9月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
9月13日	10月1日	<p><b>横断歩道とバス停の位置(小屋敷)</b>            昨日テレビで、横浜での死亡事故のニュースを見ました。            バス停の位置でバスが停まるとバスが横断歩道を隠し、その脇を渡ろうとした子供を対向車がはねた、といったニュースだったと思います。            その事故でバス停と横断歩道の位置関係が問題あるんじゃないかという話でした。            ふと気づいたら、最寄りのバス停(根方沿い、小屋敷)もバスが横断歩道を隠したり、交差点にかかったりしてるなと思い、なにか改善策があればと思いメールしました。            車で通ると、横断歩道を渡りたいのか、バスを待ってるのかかわからない、という状態でもあります。            横断歩道を渡ろうとしていて、バスが停まってくれた場合、バスの後続車は停留所で停まったと思って抜かそうとしたら、横断歩道で人が渡っていた、ということもあると思います。            こどもたちの通学路にもなっています。            こどもには気をつけるように言い聞かせてはいますが、どうか、事故がおきないように改善していただけたらと思います。</p>	<p>バス停留所の設置にあたりましては警察庁等の基準により、信号機のない横断歩道や交差点から一定距離を離すことが定められているところですが、基準施行前に設置されたバス停留所については既存不適格の取扱いとされており、〇〇様のご指摘のとおり、交差点や横断歩道に近接して設置されているところも多く見受けられるところではあります。</p> <p>市では、幼児や児童に対する交通安全教室の際に、歩行者としての留意すべき事項など一般的な安全教育を実施するとともに、各地域の道路交通事情に合わせた危険の予測と回避について指導しているほか、自動車運転手に対しては、交通ルールの遵守やマナー向上について、各季の交通安全運動のほか、様々な機会を捉えて広報を行っているところではあります。</p> <p>今回、ご意見の中にありました痛ましい交通死亡事故を受け、市内を運行するバス会社3社には、沼津バス協会を通じて車内へ注意喚起をする広告の掲示や乗務員による降車客への声掛け等の対策を依頼しました。また、今後、安全に配慮したバス停留所の位置の適正化に向け、バス事業者に申入れをまいります。</p> <p>交通安全教育につきましても、警察や学校、関係機関と連携を図り、街頭指導広報の強化と地域に密着したきめ細かい教育指導の徹底に一層努めてまいります。</p>	地域自治課

## 平成30年7月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
7月4日	7月31日	<p><b>自転車の逆走</b>            沼津市民は、自転車は左側通行であることを知らないのか？それとも、右側通行してもいいというローカルルールがあるのか？とにかく、逆走が酷すぎる！時々、マナーアップというわけの分からん人が立っているが、何も注意もしない！見て見ぬふり、それで何がマナーアップだ！言葉は悪いが、右側通行していたらぶん殴ってでも左側通行させるべきではないか！教育委員会は何を教えているのだ？沼津は関西か？法令無視の市か？私のように正論をいう人は隅に追いやられる犯罪者に優しい街か！だから人口が減るんだよ！法令無視の関西の猿真似、百害あって一利なし！お金がないからできませんというわけの分からない言い訳は聞きたくない。今年末までに逆走自転車ゼロになるように具体的な案を私に示してほしい。もう一度言う逆走自転車は法律違反！それを放置しているには犯罪者を野放しにしていると同じことだ！分かったか！？</p>	<p>市では自転車利用者に対し、年4回の交通安全運動をはじめ、自転車マナー指導強化の日や交通指導員一斉指導の日のほか、毎月、高校生自転車マナー向上委員会と連携し、自転車利用者に対する街頭指導・啓発を実施しているところです。</p> <p>小学生に対しては交通安全教室や自転車講習の中で、中学校1年生、高校1年生に対しては、毎年全員に自転車利用に関する副読本を配布し、各学校において自転車利用に関する基本的なルールとマナーについての教育指導を実施しておりますが、〇〇様のご指摘のとおり、未だに自転車利用者の逆走等、交通ルール無視やマナー違反が後を絶たないのも事実です。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を受け止め、更なる指導の強化を図る必要があると感じています。警察や学校、関係機関と連携を図り、街頭指導の強化と教育指導の徹底に努めていきたいと思っております。また、沼津警察署には、道路交通法違反での指導及び取締りの強化の要請をしております。</p>	地域自治課
7月11日	7月31日	<p><b>外国人の自転車走行</b>            お世話になっております。            毎朝、山王通りで子供を幼稚園の送迎バスに乗せています。            ほぼ同時刻に、通勤なのか、自転車でスピードを出して車道や歩道を走る外国人の方をお見掛けします。            きうは歩道でその外国人の方の自転車が子供にぶつかりそうになり、外国語で暴言のようなことを言われました。(外国語なので暴言とは断定できませんが、そのような雰囲気を感じました。)            同じ時間帯には、おそらく障害のある方が少し不安定に山王通りを歩いており、もしかしたらその方も怖い思いをしているのではと心配しています。            歩道では歩行者との事故が起こらないよう徐行する、などということが、外国人の方にもなにか伝わる方法があればよいと思います。            ご多忙のところを読んでいただき、ありがとうございました。</p>	<p>市では、自転車利用者のルールとマナーについて4カ国語(中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語)で交通安全ハンドブックを作成し、配布しているほか、沼津警察署では、事業主を通して外国人従業員に対し交通安全教育を実施するなど、外国人の方への自転車利用も含めた交通ルールとマナーの周知を図っているところです。</p> <p>しかしながら、ご指摘の箇所また自転車利用者の国籍に関わらず、自転車の交通ルールとマナー違反が見られ、その対応に苦慮しているところです。</p> <p>今回の通報を受け、7月25日現地にて通報と同時刻に沼津警察署の警察官2名、静岡県交通安全協会の交通安全指導員2名、市職員2名の計6名で街頭指導及び取り締まりを行い、該当すると思われる外国人に指導を行いました。</p> <p>今後も、年4回の交通安全運動の他、毎月自転車マナー向上キャンペーン等において更なる街頭指導・啓発の強化に務めるほか、また悪質な自転車運転者につきましては、沼津警察署に取り締まりを要請しております。</p>	地域自治課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
7月25日	8月10日	<p><b>路線バス運行社会実験事業</b></p> <p>昨年突然上記に関する沼津駅～大岡地区に循環バスを運行しました。先は喜んで無理に利用しましたが打ち切れその後何の連絡もありません。子供達迄動員してバス停を作成したりしましたが大きな沢山の問題がありました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バス停を決定するのに走行住民の意見をきかなかった。</li> <li>2. 従来の路線を併用したので利用するのに従来の方が安かった。</li> <li>3. 伊豆箱根を利用したので南回り北回りをしたので失敗。以前の伊豆箱根246路線の南北回りは人気なかった事。</li> <li>4. 大岡連合と書いてありましたがあまり熱心でなかった。</li> <li>5. 必要な高齢者の所を走行しなかった(大岡団地、日吉等)</li> <li>6. 運賃が不公平だった事</li> <li>7. 運行バスに市役所の係員が誰も乗っていなかった。乗って見る程熱意がなかった。</li> <li>8. 走行期間が10/2～12/22で必要な時(例えば夏休み、冬休み等)にできなかった。</li> <li>9. バス会社の選定 東海バス、富士急行等競争がなかった。</li> <li>10. 町内に何の説明もなかった(町組員)</li> <li>11. その後の経過も以後 なしのつぶて</li> <li>12. 下石田を前に東海バス 富士急行が走っていたので3社に頭をひねって市民の為の政策を考えなかった事</li> <li>13. 他に走っている(東海バス等)バス路線とのかねあも考えていなかった事。</li> <li>14. JRを利用するのに伊豆箱根の終点が遠すぎる。</li> <li>15. 沼津駅 大岡駅との連絡が特に高齢者には適当でない。</li> <li>16. 清水町等の循環バス等の運行を参考にしていなかった事。</li> <li>17. 沿線の大型スーパーとの関係も考えていない事。</li> </ol> <p>以上まだまだ問題が一杯です。大岡町民、学校の子供達をだました様な結果になり、本当に腹立たしく無記名ですが利用した人達がみんなおこっています。だから沼津は市民がふえないのです。まず政策課は①歩いて②従来の路線を利用して③附近の町内の意見を聞いてやるべきでした。大いに反省して下さい。市の広報に返答をお願いします。</p>	<p>大岡地区には、一部公共交通の空白地域が生じており、地域からバス路線の開設について要望をいただいております。そのため、本格運行を見据え、旅客の需要等を把握することを目的に、平成29年10月から3ヶ月間、市が支援をして循環バスの社会実験を実施しました。</p> <p>社会実験の実施にあたりましては、大岡地区連合自治会と運行ルートやダイヤを検討したほか、大岡小及び大岡南小の児童による木製停留所の制作等、地域と連携して利用促進に取り組みました。また、PRにつきましては、広報ぬまづ、市ホームページ、コミュニティ誌、チラシの組回覧等で周知を図りましたが、利用者数は1便あたり平均4.4人と少なく、バス事業者の単独での運行は厳しい状況となりました。</p> <p>しかしながら、日中の高齢者を中心とした一定の需要は確認できたため、今後もバスの運行方法について、地域、事業者、市が連携して検討していくこととしました。</p> <p>大岡地区連合自治会では、社会実験の結果と住民の要望を受け、地域が主体となり、公共交通について考え、新たなバス路線を検討する「大岡地区公共交通推進住民協議会」を本年7月に発足し、第1回協議会には、自治会役員のほか病院・薬局・介護施設・金融機関等約40人が集まり、社会実験の振り返りや趣旨・スケジュールの確認のほか、意見交換を行いました。</p> <p>今後、定期的にワークショップを開催し、利用者のさまざまなアイデアを取り入れて運行形態を検討するとともに、病院や福祉施設、商業施設等との連携を進め、年度内に方向性をまとめることを目指しています。</p> <p>いただいたご意見は、こうした場において地域と共有して今後の路線のあり方を検討していくうえで、参考にさせていただきます。</p> <p>市といたしましても、住民主体の新たな公共交通の仕組みを支援する体制の構築を図るうえで、大岡地区が一つのモデルとなることを目指して、シンポジウムの開催や専門家の派遣等、支援してまいります。</p>	まちづくり政策課

## 平成30年6月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
6月11日	6月19日	<b>道路</b> 竹の岬の信号から東芝機械の門の方へ行く道の歩道を雨の日歩いていると、道路の端に水が溜まっていて車が通るたびにバシヤンバシヤン、はねて、全身に水がかかります。近年、舗装したようですが、雨の日の水跳ねはまったく改善されておらず、歩く人の事も考えて頂きたいです。また、その先の自由が丘のバス停方面向かう道は緩やかなカーブで見通しが悪い上、歩道が狭いし、交通量も多く結構なスピードを出す車もいるので歩いていてとても怖いです。特に子供を連れている時は尚更です。	竹の岬交差点から北へ向かう市道0226号線は、車道の舗装の劣化が著しく、平成27、28年度に竹の岬交差点から東芝機械(株)体育館付近までの間の舗装の打換え修繕を行ったところですが、ご指摘をいただき、雨天時に現地を確認した結果、路肩の一部で沈み込んでいる箇所にも水溜りを確認いたしましたので、今後、状況に応じた補修を行ってまいります。 また、自動車運転手に対しては、交通ルールの遵守やマナー向上について、各季の交通安全運動のほか、様々な機会を捉えて広報を行っておりますが、ご意見を踏まえ、これまで以上に推進に努め、啓発や街頭指導に取り組んでまいります。 なお、ご意見があったことを沼津警察署にも報告するとともに、法定スピードを超過した車両及び泥はね運転をする車両につきましては道路交通法違反となりますので、警察に取締りを依頼しました。	地域自治課

## 平成30年5月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
5月21日	6月13日	<p><b>高速バス利用者への南北通り抜けのための沼津駅入場券の補助について</b></p> <p>現在高速バスの発着は沼津駅北口が中心で、路線バスの発着は南口が中心となっていますが、高速バスで来沼した観光客が、南口から路線バスで沼津港や、ラブサンシャインの聖地である三津・西浦方面に乗り換える人向けに、バス事業者の富士急さんと折半負担で、沼津駅入場券を進呈するサービスは検討できないのでしょうか。</p> <p>来月1日から新宿ー沼津便が減便され、また大阪・京都、福岡からの夜行長距離便は早朝に沼津駅北口に到着し、疲れきった体で、あまねガードを遠回りさせて南口に行ってもらっており、少しでも利便性を向上し、高速バス利用者を維持するとともに、観光客の方にも、駅南北通り抜けで浮いた時間を、食事やお土産を買う時間に充ててもらえればと思います。</p>	<p>近年、ラブライブ！サンシャイン！！のアニメ効果により、県外から多くの方々が沼津を訪れ、バスやタクシーなどの公共交通を利用していただいております。市といたしましても、より快適に便利に公共交通を利用していただけるよう、事業者とともに運行ダイヤの改善やPR活動に努めております。</p> <p>この度いただきましたご意見につきまして、観光で訪れる方々をはじめ沼津駅を利用される皆さまには、南北の移動の際にご不便をおかけしております。</p> <p>南北を自由に行き来できることは大変重要な課題と認識しておりますが、費用負担の公平性や利用手続きの煩雑化などから、現状といたしましては、市として入場券サービスの導入は考えておりません。今後、南北の回遊性について検討をしていくうえで参考にさせていただきます。</p> <p>なお、高速バスの南口での降車可否についてバス事業者に確認しましたところ、道路幅や駐車場所、所要時間などの問題により高速バスを南口に停車させることは難しいとの回答でした。</p> <p>現状といたしまして、運行本数は限られておりますが、首都圏(新宿)からのバスのうち三島駅を経由する便につきましては、南口での降車が可能となっております。</p> <p>また、首都圏(新宿)からの朝の便(バスタ新宿8時35分発)につきましては、北口に停車後、沼津港へ向かうため途中で上土に停車いたします。上土のバス停では、西浦方面など他の路線に乗り換えることが可能となっておりますこと、申し添えます。</p>	まちづくり政策課

## 平成30年2月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月5日	2月21日	<p><b>光長寺付近の横断について</b>            光長寺前の信号機、ぐるめ街道方面から来ると下り坂、西から来るとカーブの先でとても危ないです。            信号が赤になっても気づかず、スピードも落とさず、通過していく車に何度も遭遇しています。            歩行者が青になっても必ず車が停車するのを確認してからでないと、危なくて渡り始めることが出来ません。通学にも使うところ            光長寺横にある横断歩道も、カーブのところであり、危ないです。</p>	<p>交通危険箇所についてお知らせいただきありがとうございます。            光長寺前(県道三島富士線)の信号機につきましては、ご指摘の内容を信号機の設置及び管理者である沼津警察署に申し伝えた上で、警察や交通安全指導員による現地での指導を依頼いたしました。            また、光長寺西側道路(市道1763号線)の横断歩道は、見通しの悪いカーブに設置されていることから、今年度実施された門池小・中学校合同通学路点検においても、危険性が指摘され、現在横断歩道の移設について警察が検討しております。また、通学時間には、学校教員が現地で指導を行っておりますが、通学時間以外での警察及び交通安全指導員による街頭指導を依頼いたしました。            今後も、沼津警察署に引き続き指導等をお願いすることで、市民の皆様の安全の実現に努めてまいりますので、よろしくご理解くださいますようお願い申し上げます。</p>	地域自治課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
2月19日	3月23日	<p><b>ワンコインバスの運行について</b></p> <p>沼津特別支援学校から原循環バスがなくなると自力で登校できなくなる生徒が出てくるので困るとの話を聞きました。以前から思っていることですが、原だけ、片浜だけを回っているだけでは利用したいと思えるケースは少ないのではないのでしょうか。</p> <p>根方から原や片浜にバスで行きたい人は多くはないでしょう。JRを利用したいなら沼津へ出る方が便利でしょう。それに沼津特別支援学校に行く生徒は、沼津三島方面からが多く、原駅にこだわる必要はありません。</p> <p>そこで、沼津特別支援学校の登校時間に合わせて片浜駅発あしたか学園経由沼津特別支援学校行きバスを新設し、沼津特別支援学校近くで生徒を下ろしたあとは、原地区等を巡回し、市立病院へ行く路線バスにしたらいかがでしょうか。</p> <p>下校時間は3タイプあるので、それに合わせて市立病院と原地区や今沢地区を結びながら、沼津特別支援学校の生徒をあしたか学園や片浜駅まで送れるように考えたいと思います。</p> <p>また、ららぽーとができればシャトルバスが運行されると思いますが、市立病院を経由して片浜駅や原駅と結ぶ路線バスも視野に入れて考えたいと思います。ご検討ください。</p>	<p>路線バスをはじめとする公共交通は、生活の足として、また、環境にやさしい交通手段として、市民の暮らしに欠かせないものであります。</p> <p>このため市では、不採算により事業者が運行できなくなった路線を自主運行バスとして運行したり、原・片浜地区で、循環バス「ミューバス」の運行を支援したりと、地域公共交通の確保に努めております。</p> <p>ご提案いただきました、ミューバス原駅循環、片浜駅循環につきましては、利用者が少ないこと、乗務員が不足していることなどから、昨年、バス事業者から路線廃止の申出が提出され存続が困難な状況となりましたが、市としても、地域に欠かすことのできない路線であることから、事業者と協議を重ねてまいりました。</p> <p>その結果、本年4月から、片浜駅循環につきましては、平日の便数を30便から<b>15便程</b>に減便し、運賃をワンコイン100円から通常の運賃体系に変更して150円～<b>240円</b>で運行を継続することとし、原駅循環につきましては、便数は変わらず、ワンコイン100円から200円(均一運賃)に値上げをして運行することとなりました。</p> <p>今後、事業者と運行方法を検討していくなかで、ご提案いただきました経路についてもあわせて検討してまいります。</p> <p>ミューバスに限らず、路線バスは利用者の減少が続いており、収益の悪化、乗務員の不足、車両の老朽化など、バス事業を取り巻く環境は厳しさを増しております。</p> <p>市といたしましても、公共交通が果たすべき役割は今後ますます重要になると認識しており、路線バスを補完する公共交通の仕組みや運転手の確保につながる政策など、市民が便利に安心して利用できる公共交通サービスの実現を目指して検討を進めてまいります。</p> <p>また、公共交通網を維持していくためには、公共交通を利用することが肝要であるという意識の啓発にも努めてまいります。</p> <p><b>※4月2日現在、片浜駅循環は平日便数16便、運賃150円～220円にて運行。</b></p>	まちづくり政策課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
2月20日	3月7日	<p><b>西条町交差点の横断について</b>  西条町交差点ですが、ベビーカー等を使用しているとき歩道橋だととても不便です。  横断歩道の方が渡りやすいため、横断歩道も設置してもらいたいです。</p>	<p>横断歩道の設置につきましては、道路交通法に基づき警察署(公安委員会)が設置することとなり、ご指摘の西条町交差点への横断歩道の設置については、警察の見解として「歩道橋がある交差点については、既に安全な交差点の横断手段が確保されているため、歩道橋と併用しての横断歩道の設置はしない。」との回答をいただいております。  ご不便をお掛けし申し訳ございませんが、現状では、お近くの県道380号線(県道富士清水線(旧国一通り))と上本通交差点の横断歩道をご利用いただきたいと思います。  なお、歩道橋の管理については静岡県沼津土木事務所の所管となり、今回頂きましたご意見について報告し、歩道橋架け替えの際等には配慮いただくよう依頼いたしました。</p>	地域自治課
2月27日	3月7日	<p><b>沼津市民の運転マナーについて</b>  沼津の西島病院からグルメ街道につながる道を走る車のマナーが悪すぎます。  人を殺しかねないほどの勢いで走り抜けるし、ぶつかっても逃げます。横断歩道を歩いても強引に進んで来て何度も引かれかけます。  横断歩道は塗装し直してくれましたが、残念ながら運転者は無視しています。信号機を設置するなり歩道を整備するなり処置しないと事故が減りません。人が事故って死なないと市は何もしないのですか？</p>	<p>お知らせいただいた内容は、沼津警察署に申し伝え、警察官による現地での取り締まりを依頼いたしました。  上記道路(市道0221号線)につきましては、信号の設置及び管理者である沼津警察署に確認したところ、これまで信号設置に関して要望はなかったと伺っております。  信号機を新たに設置するためには、沼津警察署に地元自治会長等の名前で、地元の方々の意見として要望書(雛形あり)を提出していただくことが必要になります。  市から自治会側にもこのような話があるとの投げかけをいたしますが、地域の方の意見が重要となることから、自治会長や自治会役員等の方に働きかけをお願いいたします。  また、車両の速度を抑制する対策につきましては、必要に応じ、警察及び地元自治会と調整を図りながら道路管理者(市・道路管理課)にて検討してまいります。  今後も沼津警察署に引き続き取締りをお願いするとともに、街頭指導・広報等により交通ルールの遵守やマナー向上の呼びかけに努めてまいります。</p>	地域自治課

## 平成29年12月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月4日	12月28日	<p><b>モビリティマネジメントについて</b></p> <p>沼津市は市域が広く、高齢化で自動車の運転が難しい高齢者が増え、中心市街地の活性化も図られる中で公共交通の維持や充実が喫緊の課題かと思えます。しかし、他の地方の例からは漏れず、自家用車中心のモータリゼーションが大いに進行し、公共交通を担ってきたバス利用者は減少傾向にあるように思えます。理想は観光推進も踏まえた蛇松線跡地を活用したLRTの整備やバス運行本数を増やすことながら、モータリゼーションの風潮が強い中で財政支出をしても利用者が余り望めないようにも思えます。そこで、沼津市がバスの乗り方、バス利用の意義や利便さ、バス利用ならではの回遊の楽しさ、バス利用に不可欠な時刻表や路線図情報をあらゆる媒体で周知するモビリティマネジメントの取り組みをされ、モータリゼーション風潮の抑制を図ってはいかががでしょうか。また、既にモビリティマネジメントの取り組みは行われているのでしょうか。</p> <p>例えば、沼津市の東隣にある富士市は大学と連携し、市運行のコミュニティバスの無料情報誌をバス利用促進イベントで配布したり、自治会を通じて沿線地域全戸に配布したり、公共施設に無料で設置配布するなどして発行しています。この情報誌には、コミュニティバスの路線図・時刻表、沿線にある施設や店舗の紹介、利用モデルの紹介などバス利用に不可欠な情報、バス利用を楽しむ情報が掲載されています。</p> <p>奈良市では、富士市と同じようにバス利用促進イベントを開催する一方、教材を独自に作成し、小中学校でのモビリティマネジメント教育、転入者や免許返納者におでかけバスマップ配布、市内バスマップ、おでかけバスマップ、コミュニティバスマップの作成・配布、ノーカーデーを設定し、市職員に対する公共交通利用の促進などを行っています。</p> <p>結果が出ている例では、京都市でも、慢性的な自動車渋滞でモビリティが低下してしまっていることから、市民にあらゆる媒体や対話の機会に公共交通利用促進を呼び掛け、自動車分担率の3.8%低下に成功する結果を出しています。</p> <p>明石市は、富士市や奈良市と同じようなモビリティマネジメントを実行することで、コミュニティバスは年間100万人の利用者を記録していますし、和歌山電鐵貫志川線、神奈川の江ノ島電鉄、京都の北近畿丹後鉄道でも利用促進策が進められ、利用者の増加につながっています。</p> <p>民間単体なら十勝バスの例があり、社員が沿線住民を直接尋ねるアプローチでニーズを調査しています。その結果を路線別、目的別の時刻表やバスの乗り方を掲載したバスマップを作成し、それを沿線全世帯に配布することで利用者増に結びつけています。</p> <p>沼津市はモータリゼーションが進みすぎた結果、自動車利用が増え、新自由主義的な規制緩和もあつた結果、店舗の郊外化や大規模化が進み、中心市街地は大きく衰退、個人店も熾烈な競争で廃業も多かったと聞きます。確かにバス会社に補助金を入れて路線を維持したり、駅高架化などによるハード整備も大切かと思えます。しかし、前者だけでは根本的な解決にはなりませんし、後者はまだまだ時間がかかります。高架化を待つ間ならば一と開業によってさらにモータリゼーションが進み、中心市街地や個人店が衰退しては間に合わない可能性すらあります。</p> <p>それならば、今できる政策を総動員し、沼津市も公共交通利用を市民に促すなり、公共交通利用の楽しさを周知し、既存のリソースやインフラを最大限に活かされてはいかががでしょうか。中心市街地活性化を図る沼津市なら尚更モビリティマネジメントの推進は必須かと思えます。既に行われているモビリティマネジメントの取り組み、さらに取り組まれるモビリティマネジメントがあるのかを伺います。</p>	<p>ご指摘のとおり路線バスをはじめとする公共交通は、自家用車の普及や人口減少による通勤・通学需要の縮小などにより、利用者の減少が続いており、収益の悪化、乗務員の不足、車両の老朽化など、路線バス事業を取り巻く環境は、本市におきましても厳しさを増しております。</p> <p>一方で、高齢化の進展等に伴い、公共交通が果たすべき役割は今後ますます大きくなり、過度な自動車依存の暮らしから多様な交通手段を利用する暮らしへと転換を図るモビリティマネジメントが重要であると認識しております。</p> <p>これまで沿線住民との意見交換、利用者アンケート、路線図等のチラシ作成、沿線への時刻表配布、子どもや高齢者を対象としたバスの乗り方教室の開催、利用促進イベントの支援、運転免許証を自主返納した高齢者へバス・タクシー利用券を交付、ラッピングバスによる観光利用の促進等、事業者と連携して取り組んでまいりました。</p> <p>また、今年度から「新たな公共交通の仕組み研究事業」に取り組み、都市構造の変化に合わせた公共交通のあり方やネットワークの構築、ICTの活用や料金施策をはじめとする利用促進策、路線バスを補完する公共交通の仕組み等についても有識者を交えて検討を進めているところです。</p> <p>今後のさらなる取組につきましては、公共交通の魅力を高める交通基盤整備や自家用車の都心への流入を抑制するトランジットモールの導入、多様な交通手段を活用した歩行者を中心としたまちづくりについて、長期的な視点で検討を進めるとともに、まずは個人の意識や行動に変革を促すソフト事業の一層の展開を図ってまいります。具体的には、通勤について公共交通への転換を図るための企業との連携や住民参画型の新たな公共交通の仕組みの検討等に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>最後になりますが、多くの事例をご紹介いただき、ありがとうございました。施策の参考といたします。</p>	まちづくり政策課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
12月22日	12月28日	<p><b>岡宮地区の公共交通について</b></p> <p>岡宮地区の温泉施設付近に住んでいるが、免許証を返納したため、バスを利用している。最寄りのバス停は、富士急シティバスの光長寺バス停であるが、家から歩いて30分程かかる。</p> <p>東日本大震災以降、岡宮付近の人口は増えてきており、今後ますます増加傾向になると思うので、是非バス路線(バス停)を増やしてほしい。</p> <p>県議会議員へ意見を伝えたところ、バス会社の運転手がないなど厳しい状況であると言っていた。</p> <p>先日テレビで、市がマイクロバスを購入し、そのバスを、タクシー会社が維持管理を含め、運行しているという話を耳にした。</p> <p>沼津市でも、いい知恵を出し合い、何かいい方策を打ち出してほしい。</p>	<p>高齢化の進展等に伴い、公共交通が果たすべき役割は今後ますます重要となり、また岡宮地区は、区画整理事業に合わせて公共交通の整備が必要な地区であると認識しております。</p> <p>しかしながら、ご指摘のとおり路線バス事業者を取り巻く環境は厳しく、乗務員不足から路線の維持が困難となっており、需要が不明確な新規路線の検討に踏み出せない状況であると伺っております。</p> <p>そのため、今年度、地域からの要望を受け、一部で公共交通空白地域が生じている大岡地区において、市が支援をして循環バスの社会実験を実施しましたが、利用状況は厳しく、採算性の向上が課題となりました。</p> <p>このような状況であることから、現在、「新たな公共交通の仕組み研究事業」に取り組み、ご紹介いただいた事例のように、路線バスを補完する公共交通の仕組みについて有識者と研究を進めております。</p> <p>今後の持続的な公共交通を考える上では、地域の需要に応じた住民主体の事業運営が欠かせません。今後も皆様のご意見を伺いながら、検討を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	まちづくり政策課

## 平成29年11月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
11月14日	12月13日	<p><b>原町中内へのバス停設置について</b>            高齢化により先々車の運転免許証の返上も考えています。原町中内を通るバス停の設置を今後お願いします。</p>	<p>路線バスをはじめとする公共交通は、生活の足として、また、環境にやさしい交通手段として、市民の暮らしに欠かせないものであります。</p> <p>このため市では、不採算により事業者が運行できなくなった路線を自主運行バスとして運行したり、原・片浜地区で循環バス「ミューバス」の運行を支援したりと、地域公共交通の確保に努めてまいりました。</p> <p>しかしながら、ご意見いただきました「ミューバス」については、利用者が少ないこと、乗務員が不足していることなどから、バス事業者から路線廃止の申し出が提示され、存続が困難な状況となっております。</p> <p>このため市では、原地区の皆様の生活の足が維持できるよう、現在、代替の交通手段について検討しているところです。このような状況ですので、運行ルートの変更、バス停増設のご要望にすぐにはお応えできませんが、検討にあたっては、今回いただきましたご意見のような利用者の声を伺いながら進めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>ミューバスに限らず、路線バスは利用者の減少が続いており、収益の悪化、乗務員の不足、車両の老朽化など、バス事業を取り巻く環境は厳しさを増しております。</p> <p>市としても、高齢化の進展に伴い、公共交通が果たすべき役割は今後ますます重要になると認識しており、路線バスを補完する公共交通の仕組みなど、市民が便利に安心して利用できる公共交通サービスの実現を目指して検討を進めてまいります。また、公共交通網を維持するためには、公共交通を利用することが肝要であるという意識の啓発にも努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	まちづくり政策課

## 平成29年9月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
9月19日	9月30日	<p><b>沼津駅北口放置自転車問題について</b></p> <p>第五地区センターでの市長との対話の時にも議題にあがりましたが、自転車置場の駅からの距離やViVi利用時など駐輪場の不足は簡単には解消しないと考えます。</p> <p>そこで、乱雑に駐輪されたり強風で倒れたりするので景観が良くないと考えまして、逆にあまり使用されていない自転車通行帯を高架化工事の本格開始までの期間限定で自転車置場にしてはどうでしょうか？</p> <p>リコー通りにあるフィエスタノジマの駐輪スペースに設置してあるような自転車用輪止めを設置して一台一台そこに並べて駐輪してもらおう。ViViの近くには輪止めを置かないでテーブルとイスを置いてオープンカフェ用に自由に使ってもらおう。ちょうどピザ屋さんもオープンテラスを出しているのと同じように使ってもらおう。ニュースで池袋駅の放置自転車対策で同じようなことをして減少したと取り上げられていたので参考にしてください。</p> <p>将来的には電車通学で通学用に学校まで用の自転車をわざわざ買って持っている生徒を対象に中国で流行っているようにレンタサイクルで対応してもらいスマホでどこに借りられる自転車があるか探索でき、みな同じタイプの自転車なので決められた場所に駐輪してあるモノに乗り決められた場所で乗り捨てできる、こんなサービスが出来れば良いんですけど。もちろん一般人も登録すれば乗れます。バラバラの大きさや形の自転車が駐輪してあるから景観が悪いと考えたので同じデザインならすっきりしますよね。</p>	<p>BiVi沼津北側の自転車専用通行帯に放置された自転車につきましては、歩行者通行の阻害となっていること、また景観上や盗難の問題から、第五地区市長と語る会においても意見交換テーマとして挙げられたところです。</p> <p>ご指摘いただいたとおり、沼津駅北口の駐輪場の不足は簡単には解消しない問題であり、沼津駅北口の3箇所の駐輪場はいずれも利用率が高く、現在BiVi沼津北側に放置・駐輪されている自転車を収容することは難しい状況にあります。</p> <p>〇〇様の提言にもありますように、鉄道高架事業を進めていく中で、暫定的な対応としてBiVi沼津北側の自転車通行帯の一部を駐輪場として活用する検討を考えているものでございます。なお、整備にあたっては地元自治会等と調整の上、関係機関と協議し、進めてまいります。</p> <p>また、利活用について柔軟で前向きなご提案をいただきありがとうございます。将来的には、放置自転車対策を含めた、市全体の自転車利用対策を考えていく必要があると考えています。提案を参考にさせていただきます。</p>	地域自治課

## 平成29年8月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月10日	9月11日	<p><b>市立病院までの公共交通機関について</b>            原に住んでおりますが、従前にあった市立病院行きのバスがなくなり、車を所有していない人は、非常に不便を感じています。            JR原駅あるいは西の植田、桃里辺りから1日1往復の市立病院までの路線バスないし、10人以内の車両(ハイエースなど)での運行は出来ないものか。            例えば、透析の車両は巡回しているように伺っています。是非ご検討を。片浜駅からでは不便です。</p>	<p>路線バスをはじめとする公共交通は、生活の足として、また、環境にやさしい交通手段として、市民の暮らしに欠かせないものであります。            このため市では、不採算により事業者が運行できなくなった路線を自主運行バスとして運行したり、原・片浜地区で循環バス「ミューバス」の運行を支援したりと、地域公共交通の確保に努めています。            現在、原駅周辺を走る路線バスで、日中ご利用いただけるのは、原駅を起終点とするワンコイン循環バス「ミューバス」と、沼津駅と東田子の浦駅を結ぶ通称「原線」になります。            平成25年までは、原駅を起終点にミューバス原循環・平沼循環を運行しておりましたが、乗客数が少なく、現在の原駅循環へ統合した経緯がございます。また、原線も、東田子の浦駅～沼津駅間で1便あたりの乗客が約11人と極めて少なく、年間約1千万円の損失が生じており、国・県の補助を受けて路線を維持している状況です。            ご意見いただきました原駅から市立病院への路線バスについてバス事業者を確認いたしましたが、十分な利用者が見込めないため、現時点での路線開設は困難であるとのことです。            市としても、高齢化の進展等に伴い、公共交通が果たすべき役割は今後ますます重要になると認識しており、今年度から「新たな公共交通の仕組み研究事業」に取り組み、路線バスを補完する公共交通の仕組みについても研究を始めたところです。時間はかかるかもしれませんが、市民が安心して利用できるきめ細かく便利な公共交通サービスの実現に向けて検討を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。            原地区に限らず、路線バスは利用者の減少が続いており、収益の悪化、乗務員の不足、車両の老朽化など、路線バス事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。            市におきましても、公共交通の利用促進、みんなで公共交通を支える意識の啓発に取り組んでまいりますので、公共交通の積極的な利用にご協力をお願いいたします。</p>	まちづくり政策課
8月29日	9月14日	<p><b>東海バス西浦線について</b>            いつもお世話になっています。ラプライブサンシャインの聖地巡礼で東海バス西浦線を利用しますが、現在沼津駅前9:55木負農協行、10:55江梨行きと間が1時間空いてしまうためいつも10:55江梨行きが混雑しています。            土休日だけでも間の10:25に内浦方面のバスを増やしていただけると嬉しく思います。よろしく願います。</p>	<p>日頃から西浦線をご利用いただき、ありがとうございます。            路線バスをはじめとする公共交通は、自家用車の普及や人口減少による通勤・通学需要の縮小などにより、利用者の減少が続いており、収益の悪化、乗務員の不足、車両の老朽化など、路線バス事業を取り巻く環境は、本市におきましても厳しさを増しております。特に乗務員の不足は深刻であり、採算路線であっても減便を余儀なくされている状況です。            西浦線は、「ラプライブ！サンシャイン!!」のファンの方に多くのご利用をいただき、特に夏季においてはラッピングバスが満車となることもあり、バス事業者が臨時便で対応してまいりました。しかしながら、当該路線は、沿線住民の絶対数が少なく、かつ利用状況も低迷していることから、年間を通じては不採算路線であり、市が自主運行バスとして年間約3,800万円の補助金を支出して運行を維持しております。            こうしたことから、通年の増便は非常に困難であります。いただいたご意見はバス事業者にもお伝えし、繁忙期における増便等の対応を事業者と検討してまいります。            また、市では、今年度から海上交通の新たな試みとして、月中の土日祝日に、沼津港と内浦港、平沢(らららサンビーチ)をつなぐ海上タクシーを試験的に運航しました。「ラプライブ！サンシャイン!!」のファンの方やサイクリストなど、様々な方に利用していただきたいと考えたものです。            厳しい状況である生活交通を支える観点からも、観光利用の促進は非常に重要な視点であると認識しております。沼津へ多くの方に訪れていただくため、便利な公共交通ネットワークを様々な手法で構築を図ってまいりますので、ご理解ご協力をよろしく願います。</p>	まちづくり政策課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月30日	10月10日	<p><b>門池地区防犯灯、通学路について</b></p> <p>住まいは門池地区になります。街灯が暗く夜歩けません。元国産電機の東側(小さな川沿い)になりますが、大人でも歩くのが怖いです。</p> <p>街灯が切れている箇所や街灯自体の明るさも弱い。木で陰になることもあり、子どもも多い地区なので、事件・事故が起きないかととても心配です。</p> <p>テレビでよく、「事件が起きた現場は取材のライトを消すと真っ暗です」というのを聞きますが、沼津でそんなことを聞きたくはありません。</p> <p>また、西側を通るルート小学校までの通学路の安全確保も早々に改善をお願いします！道路を渡る際、とても危険です！</p>	<p>門池地区防犯灯、通学路についてお答えいたします。</p> <p>1、防犯灯について 電柱等に設置されている防犯灯は、各地域の自治会が設置と管理を自主的に行っており、市では、地域の防犯活動の支援のため、設置費用と維持管理費用の補助を行っております。</p> <p>今回いただきました防犯灯の改修等のご要望につきましては、本課の地区担当が夜間の現場確認を行い、ご指摘いただいたとおりであることを確認いたしました。</p> <p>その結果を踏まえ、当該地区自治会に対し、今回のご意見の主旨と現状について報告をさせていただいたところ、照明が切れた防犯灯については早急に修理を行うこと、併せて周囲を明るく照らすLED防犯灯の設置についても検討を行っているとのことご回答をいただきましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>今後とも、地域の防犯・安全のためご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。(地域自治課)</p> <p>2、通学路について ご指摘いただきました交差点については、平成28年11月17日に、沼津市交通安全アドバイザーの大学教授、国土交通省沼津河川国道事務所、県沼津土木事務所、沼津警察署、沼津市役所の道路管理課、地域自治課、学校教育課、門池小学校、連合自治会、PTAにより合同現地地点検を行い、改めて関係者の間で危険箇所であることを共通認識したところです。</p> <p>これにより、根方街道(県道22号)を通行する車両の速度を抑制するために、県沼津土木事務所が交差点付近にドットラインを設置しました。</p> <p>しかしながら、抜本的な解決策である信号機の設置(警察管轄)については、歩行者が待機できる十分なスペースが確保できないため、現在のところ実現できない状況にあります。このため、信号機の設置は、根方街道の拡幅が必須ですが、県沼津土木事務所では、地元住民の総意及び地権者の同意があれば、今後、同交差点付近の道路改良に向けた事業化を検討していくとの回答を得ております。</p> <p>市としましては、信号機設置に向けて地元と協力するとともに、設置されるまでの間、地域の見守り隊や、保護者ボランティアの協力を引き続きお願いし、学校においては子どもたちへの交通安全指導を徹底して、交通事故の防止に努めていきたいと考えております。(学校教育課)</p>	地域自治課 学校教育課

## 平成29年7月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
7月24日	8月29日	<p><b>高齢者の交通手段について</b>  先日、「市長と語る会」に参加させていただいた者です。その時に、ある女性の方が、高齢者の交通手段が少なく、街に出るにもバスは非常に少なく、結局家にこもってしまうというような事を述べていました。私の周囲の方々からもバスが少なすぎて出かけられないという話を頻繁に聞いています。</p> <p>そこで、参考にしてもらいたいのですが、タクシー会社には、ジャンボタクシー等があり、これには9人が乗れます。三島市では、交通手段のない地域で、定期便の乗合タクシーとして、このジャンボタクシーが使われています。</p> <p>また富士市では、富士駅と新富士駅の間が離れているため、乗車料金500円で、この駅の間を往来するタクシーを運行しているそうです。沼津市は特にタクシー会社が多く、需要に対してタクシーの供給過多にありますので、このタクシーを上手に使いえないでしょうか？</p> <p>原駅や片浜駅を中心としたミニバスのルートの隙間に、定期便のタクシーなどを走らせられないか、また東原ニュータウン等のバスの通らない高齢者の多い地域と駅やスーパーマーケットを結ぶルートに、バスの代わりにタクシーを使いえないでしょうか？</p> <p>もちろん乗車料金が安くなければ意味がありませんので、そこは自治体、沼津市の支援が必要になると思いますが、是非、バス会社、タクシー会社と一体となって調整しながら、そのような仕組みを検討してもらえないでしょうか？よろしくお願いします。</p>	<p>路線バスをはじめとする公共交通は、生活の足として、また、環境にやさしい交通手段として、市民の暮らしに欠かせないものであり、高齢化の進展等に伴い、公共交通が果たすべき役割はますます重要になると認識しております。</p> <p>このため、市では、不採算により事業者が運行できなくなった路線を自主運行バスとして運行したり、原・片浜地区で循環バス「ミュバス」の運行を支援したりと、地域公共交通の確保に努めているところです。その一つとして本市におきましても、ジャンボタクシーを活用して戸田地区と西浦江梨地区を結ぶデマンド式乗合タクシーを運行しており、通院や買い物等の生活の足としてご利用いただいております。</p> <p>また、市では、本年度から便利で安心してご利用いただける公共交通について専門家とともに検討する「新たな公共交通の仕組み研究事業」に取り組んでいるところです。</p> <p>この取り組みの検討項目として、郊外部等における移動手段の確保についても取り上げる予定であり、ご提案いただきましたタクシー車両の活用をはじめ、バス交通を補完する仕組みについて検討してまいります。</p> <p>検討結果の実現までには、実施地域の選定をはじめ、運行方法や運行主体の決定、法規制の確認など解決すべき課題も多くありますが、市や交通事業者だけでなく、地域のみなさんと一緒に、市民が安心して移動できる新たな公共交通の実現に向けて検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>地域公共交通の維持のためには、皆様に公共交通を利用していただくことが不可欠ですが、現在、自家用車の普及や人口減少による通勤・通学需要の縮小などにより、公共交通の利用者は減少が続いており、バス・タクシー事業者は収益の悪化、車両の老朽化など厳しい現実に直面しており、とりわけ乗務員の不足・高齢化が深刻な状況です。</p> <p>市といたしましても、公共交通の利用促進、みんなで公共交通を支える意識の啓発に取り組んでまいりますので、公共交通の積極的な利用にご協力をお願いいたします。</p>	まちづくり政策課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
7月24日	8月29日	<p><b>バス路線、便数の拡充と沼津港区域の観光発展の方策について</b></p> <p>現在、ラブライブサンシャインの若者ファンの皆様が多く沼津を訪れています。その交通ルートとして、車で来た人の中で、一旦沼津港に車を駐車し、414号線の東海バス停(榎島)まで歩いて来て、淡島、三津、大瀬方面のバスに乗る若者達と話しました。さらに多くのファンの皆様は沼津に来てもらい、三津地区の発展と沼津港区域の益々の発展のために、バス路線追加、増便の提案をします。</p> <p>ファンの方々には、車で来ても、ラッピングバスにも乗りたいと思っている人がいると思いました。しかし、現在はこのラッピングバスの江梨方面への運行は、毎日2回しかありません。また路線も沼津駅から榎島を通り、島郷から414号線で向かうルートしかありません。せっかく沼津港には深海水族館、食事街がありますので、この発展も踏まえ、バス路線を沼津駅から沼津港経由の江梨、大瀬までの路線を作ったらと考えました。</p> <p>また小型バスで良いので便数の増加を提案します。また目的地に着いたら無料の貸し出し自転車を用意、使ってもらえば更に好評を得るかもしれません。帰りには、沼津港で食事、深海水族館を覗いてもらったらと思います。</p> <p>またバス料金が今現在、少し高いような気がします。往復で千円ぐらいの料金にならないでしょうか。観光ばかりではなく、三津地区では病院が少なく、またお年寄りが多いため病院通いの人、ショッピングのためにも便の増加と低額料金にしてもらえれば、観光ばかりではなく、地域の人達にも好評を得られると思います。</p> <p>しかし、東海バスは赤字でやるつもりはないと思いますので、これは難しいと思いますが、市からの補助金を考えても良いかもしれません。公共交通は利益優先でいってたら益々過疎化地域が増え、沼津離れになると思っています。</p> <p>次に、沼津港には大型バスなど、もっと駐車できる施設が出来ないかと思えます。これも難しい提案かも知れませんが、多くの観光客誘致には広い駐車場所が必須です。</p> <p>また、深海水族館を全国的に宣伝するために、「さかな君」を深海魚大使にしてアピールできないかと思いました。また料金がちょっと高すぎるような気がします。</p> <p>元に戻りますが、沼津港からのラブライブサンシャインラッピング定期船も、交通渋滞回避の点でも考えてみたらどうでしょうか。</p>	<p>路線バスをはじめとする公共交通は、自家用車の普及や人口減少による通勤・通学需要の縮小などにより、利用者の減少が続いており、観光需要の掘り起こしは、非常に重要な視点であると認識しております。</p> <p>現在、市内を走るラブライブ！サンシャイン!!のラッピングバスは、東海バス2台、伊豆箱根バス2台となっており、東海バスはそれぞれ西浦方面へ1日2往復、伊豆箱根バスは沼津駅と長岡駅、長岡駅と伊豆三津シーパラダイス間を運行しております。</p> <p>路線バス事業者は、限られた車両・運転手を効率的に運行するためのダイヤを編成していることから、ラッピングバスをすべて西浦方面行きにすることは難しいと思われませんが、できるだけアニメの舞台をラッピングバスが走れるよう、事業者に要請してまいります。</p> <p>また、市では、今年度から海上交通の新たな試みとして、8月中の土日祝日に、沼津港と内浦港、平沢(らららサンビーチ)をつなぐ海上タクシーを試験的に運航いたします。「ラブライブ！サンシャイン!!」のファンの方やサイクリストなど、様々な方に利用していただきたいと考えております。</p> <p>レンタサイクルにつきましては、三の浦総合案内所において無料貸出を行っておりますが、寄贈いただいたラブライブ！サンシャイン!!のイラストをデザインした自転車を8月から導入し、内外の方に本市を楽しんでいただける環境を整備してまいります。</p> <p>バス路線の新設、増便、運賃の値下げについてのご意見ですが、利用者の減少等にもない、収益の悪化、乗務員の不足、車両の老朽化など、路線バス事業を取り巻く環境は厳しさを増しております。特に乗務員の不足は深刻であり、採算路線であっても減便を余儀なくされている状況です。また、三浦地区における路線バスは、不採算により、市が自主運行バスとして年間約3,800万円の補助金を支出して運行を維持しております。こうしたことから、増便や運賃の値下げは非常に困難ではありますが、いただいたご意見はバス事業者にもお伝えし、路線バスの利用促進やサービスの向上に役立ててまいります。なお、東海バスでは、65歳以上の方を対象に、購入すると1乗車100円でバスを利用できる「楽々バス」を販売していることを申し添えます。</p> <p>公共交通網の維持のためには、公共交通を利用していただくことが不可欠であります。市といたしましても、こうした意識の啓発に取り組みまいりますので、公共交通が直面している厳しい現実をご理解いただき、公共交通の積極的な利用にご協力をお願いいたします。</p> <p>次に、沼津港に関するご意見ですが、現在、県の管理する沼津港には、駐車場として使用できるスペースを最大限市で占用し、沼津観光協会が管理する大型バス駐車場を設けております。また、一般に利用できる駐車場として、沼津魚市場INOと沼津みなと新鮮館に併設した無料駐車場や有料の立体駐車場「ぬまづみなとパーキング」があります。一方、大型バスによる渋滞や駐車場所の不足も認識しており、駐車スペースの有効利用について検討するため、現在、県により、問題解消に向けた実証実験を行うこととなっております。</p> <p>また、「沼津港深海水族館」につきましては、民間が運営している深海魚をテーマとした施設であります。市といたしましても、多くの観光客が来場する重要な観光施設であると考えていることから、ご意見いただいた宣伝のための深海魚大使、料金設定について検討していただくよう、深海水族館側に伝えさせていただきます。</p> <p>沼津港からの「ラブライブ！サンシャイン!!」のラッピング定期船につきましては、まずは、船の需要や交通渋滞状況を確認しながら、いただいたご意見を参考に研究してまいります。</p>	<p>まちづくり政策課 観光戦略課</p>

## 平成29年4月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
4月5日	4月12日	<p><b>自転車の通行について</b></p> <p>自転車は一方通行を逆に歩く事は可能なのでしょうか。自転車って何を基準に走ったらいいかわからないので、一度広報ぬまづで特集していただけたらと思います。</p> <p>また、自転車は、歩行者と同じ扱いだったり、車両扱いだったり、運転してる側も譲るべきかどうかを迷う時があります。昨日は三つ目ガード内で歩行中に小学生の団が横一列に並んで自転車走行していて、端を歩いていたにも関わらず、よそ見運転の男の子とぶつかりそうになりました。春休み、夏休み、冬休み前には、小学校中学校でも自転車講習をしてほしいです。よろしくお願いします。</p>	<p>自転車は道路交通法(以下、「道交法」という。)第2条第1項第8号及び11号の規定により車両の一種として軽車両に区分されます。よって、車両として一方通行路を逆走することは道路交通法違反となります。</p> <p>ただし、一方通行標識に「軽車両を除く」もしくは「自転車を除く」という補助標識のある場合には、自転車は逆走することが可能です。しかし道交法では、自転車は左側通行することが義務付けられており、前述の「軽車両を除く」「自転車を除く」という補助標識のある一方通行の場合においても、自転車は左側通行することとなります。</p> <p>また、車道では自転車など軽車両は、他の軽車両との並進を禁止されておりますが、これについても普通自転車の「並進可」の道路標識がある道路では、2台までに限り並進することができます。</p> <p>なお、自転車は運転手が乗車している場合は車両として扱われますが、運転手が降車し自転車を押して歩いている場合は歩行者として取り扱われ、歩行者同様に最優先されます。</p> <p>現在、市内の小中学校では静岡県交通安全協会の交通安全指導員の協力のもと、児童を対象に安全な自転車の乗り方について学習と実習をする自転車講習を実施しておりますが、学校を通じ児童へさらなる講習内容の徹底を図ってまいります。</p> <p>また、今後も警察をはじめとする関係団体と連携した講座や街頭指導を行うとともに、広報ぬまづによる周知を図ってまいります。</p>	地域自治課